

「もしも」に備え 「もしも」を防ぎ 「もしも」に向き合う。

こくみん共済 coop の始まりは1954年。

火災が起きると生活再建が困難だった時代、

みんなでもしもに備える「火災共済」がスタートでした。

それ以来、たすけあいの仕組みである共済を通じ、

たくさんの組合員の暮らしを支えてきました。

今では、全共済のご契約件数2,977万件。^{※1}

大きなたすけあいの輪がむすばれています。

四季があり、自然豊かな日本は、同時にさまざまな自然災害と向き合っています。

だからこそ私たちは、共済による「もしも」への備えはもちろん、

「もしも」を防ぐことや「もしも」の後をサポートし続けることも重要だと考えています。

2021年には、災害から暮らしを守るための新たなプロジェクトを立ち上げました。

そのひとつとして、こくみん共済 coop の本部がある渋谷で

企業や団体、学生、自治体の皆さんと一緒にになって、

「もしも」を考え、備える取り組みを進めています。

11年前の今日、東日本大震災が起ったように、

近い将来、発生するかもしれない「もしも」に向けて、

この取り組みを全国に広げていきます。

ぜひあなたの力を貸してください。

2024年には火災共済の誕生から70年を迎えます。

「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会」の実現に向か、

これからも私たちは、皆さんとともに取り組んでいきます。



たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会

coop

公式キャラクター
ピットくん

地域に暮らす一人一人が、
防災・減災を身近に考え、備える活動を、
さまざまなエリアで進めてきました。
その輪を、さらに広げていきます。

- ぼうさいカフェ
- もしもプロジェクト渋谷
- お住まいの地盤診断サービス
- etc...



火災や地震・台風・大雨・雪害などから、
住まいや家財道具を守る「住まいの共済」。
協力団体、生活協同組合、
労働金庫等の皆さんと普及を進め、
今では加入件数404万件、
お支払いした共済金は371億円。^{※4}